

エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会

意見表明者の意見概要一覧（さいたま会場）

意見表明番号	意見表明概要
1 15 シナリオ	安全保障、最適なエネルギーの組み合わせなどを含めた総合的な観点から「中間的選択肢」の意義について意見したい。
2 20-25 シナリオ	再エネの技術革新が不透明な状況でエネルギー資源に乏しい日本は、将来の不確定性に備えて、多様なエネルギー選択肢を維持すべき。原子力の安全強化に注力し、原子力を選択肢として維持する 20-25 シナリオもしくは 15 シナリオが当面は適切であることは自明。
3 ゼロシナリオ	原子力発電は、一旦事故が発生した時は、人力では制御出来ない。人間の想定外の自然災害は発生します。 政府は、目標を原発ゼロを目標に、その達成の為の施策を考えるべきである。既に海外では、原発 20 基分に相当する、風力発電設備の設置を具体的に進めており、日本の三菱重工が参加を目指している。日本でも政府レベルで、風力発電・太陽光発電・家庭用の太陽光発電の普及に施策を変更すべきである。 2030年の間には、現在の原発は設置後40年を超えるものが多く出て来ます。これらは、廃炉にするべきと考えます。
4 ゼロシナリオ	実家が青森の下北半島です。核施設が乱立しており、いつ原発事故があるかわからない、田舎なのに、到底安心とはかけ離れた暮らしをしております。日本は福島原発事故より以前から経済が停滞しております。世界の目が福島事故から日本がどのように立ち上がるか、注目している中、以前の原発に頼ったエネルギー政策を脱却し、新エネルギーで経済復興（輸出も含め）イメージ転換、そして何よりも、国民が安心出来る生活を目指していくべきだと思います。今現在、原発に頼っている地域が、原発から脱却出来るような雇用の促進も新エネルギーの工場誘致とかの形で、進めていけたら・・・と思っています。それが今の私の心からの願いであります。
5 15 シナリオ	一人一人は夢を見ても、政府は現実的な選択をするべきだと思います。国際情勢の変化に左右されにくいエネルギー源の確保をするには多少の原発は必要です。最終処理や安全性など、問題は多くありますが、これからの日本を担う一理系の学生として、これらの解決を仲間と被災者と共に夢を見て、福島を勝ちで終わらせます。

6 20-25 シナリオ	長引く不況から日本が抜け出すには、電力の安定供給が絶対必要条件。意思を持って維持する20-25%しかあり得ない。CO2目標は国民生活を守る観点から、再検証必要。
7 ゼロシナリオ	原発の安全対策が万全でない。また、核廃棄物の完全な処理方法を持っていない。地球環境を守り、自然の摂理に従った、循環型で持続可能な社会の在り方を模索すべきである。
8 15 シナリオ	現状の電力の需給バランスを考えると、原発に頼らないといけないところが多いからです。しかし、ウランが、35年分を考えると、いづれ違う発電方法を考えないとと思います。
9 20-25 シナリオ	

意見表明概要の掲載に関するご本人許諾がない方は、空白としています。